

J-NET 取引制度要綱

2021年10月1日現在
株式会社大阪取引所

項 目	内 容	備 考
<p>I 取引の仕組み</p> <p>1 J-NET取引</p> <p>2 対象</p> <p>3 取引契約締結の方法</p> <p>4 取引時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> • J-NET取引とは、競争売買市場から独立したJ-NET市場において行う、立会によらない先物・オプション取引であって、次の取引をいう。 <ul style="list-style-type: none"> a J-NET単一銘柄取引 当社が定めるところに従って行う1取引単位以上の先物・オプション取引（フレックス限月取引に係るものを除く）をいう。 b フレックス単一銘柄取引 当社が定めるところに従って行う1取引単位以上の先物・オプション取引（フレックス限月取引に係るものに限る。）をいう。 c コンプレッション取引 当社が定めるところに従って行う当社が定める銘柄及びその数量を組み合わせた先物・オプション取引をいう。 • J-NET取引の対象は、競争売買市場において取引される、台湾加権指数先物を除く先物・オプション取引の全ての銘柄及び日経平均トータルリターン・インデックス先物、東証銀行業株価指数オプション取引並びに東証REIT指数オプション取引とする。 • J-NET取引は、次の区分に従い次に掲げるときに、当該呼値の間又は各銘柄に係る各呼値の間に取引を成立させる。 <ul style="list-style-type: none"> a J-NET単一銘柄取引 売呼値又は買呼値のいずれか一方の呼値と当該呼値と対当させるために行われた呼値とが合致したとき b フレックス単一銘柄取引 売呼値又は買呼値のいずれか一方の呼値と当該呼値と対当させるために行われた呼値とが合致したとき c コンプレッション取引 コンプレッション取引を行おうとすることを当社所が定めるところに従って申請した取引参加者により行われた呼値（顧客の委託に基づく場合は当該顧客単位）がすべて合致したとき • 国債証券先物取引及び国債証券先物オプション取引 午前8時20分～午後3時15分、午後3時25分～翌日午前6時 • 日経平均V I先物を除く指数先物取引及び指数オプ 	<ul style="list-style-type: none"> • コンプレッション取引については、当社が別に定める指数先物取引及び指数オプション取引を対象とする。 • 呼値に係る値段が立会における取引状況等勘案し当社が適当でないと認めた場合には、取引を成立させない。 • 当社が必要と認める場合には、取引時間を臨時に変更できるものとする。 • 日経平均トータルリター

項目	内容	備考
<p>5 取引方法</p> <p>6 呼値</p>	<p>ション取引 午前8時20分～午後4時、午後4時15分～翌日午前6時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日経平均V I 先物 午前8時20分～午後4時、午後4時15分～午後7時 ・ 商品先物取引(ゴム(RSS3)先物取引及びゴム(TSR20)先物取引を除く。)及び商品先物オプション取引 午前8時20分～午後4時、午後4時15分～翌日午前6時 ・ ゴム(RSS3)先物取引及びゴム(TSR20)先物取引 午前8時20分～午後4時、午後4時15分～午後7時 ・ 有価証券オプション取引(フレックス限月取引に係るものを除く。) 午前8時20分～午後4時 ・ 有価証券オプション取引(フレックス限月取引に係るものに限る。) 午前8時20分～午後4時、午後4時～午後5時30分 <p>・ 売買システムによる取引とする。ただし、コンプレッション取引については売買システムによる取引以外の取引とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J-NET単一銘柄取引の呼値は、別紙1にある値幅内のそれぞれ定める値段の単位の整数倍の値段により行うものとする。 ・ フレックス単一銘柄取引の呼値は、別紙2にある値幅内のそれぞれ定める値段の単位の整数倍の値段により行うものとする。 ・ コンプレッション取引の呼値は、次の区分に従い次に掲げる値段により行うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> a 指数先物取引 前取引日における当該限月取引の清算数値(クリアリング機構が指数先物取引の清算数値として定める数値をいう。) b 指数オプション取引 前取引日における当該銘柄の清算価格(クリアリング機構が指数オプション取引の清算価格として定める価格をいう。) ・ 売付けと買付けを同時に行うJ-NET単一銘柄取引及びフレックス単一銘柄取引を行おうとするときは、 	<p>ン・インデックスを対象とする指数先物取引及び取引最終日における取引対象指数の最終の数値を最終清算数値とする指数先物取引並びに権利行使日における対象指数の最終の数値をオプション清算数値とする指数オプション取引については、取引最終日の終了する日における取引時間を午前8時20分から午後3時までとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 権利行使日におけるオプション対象証券の最終値段をオプション清算数値とする有価証券オプション取引については、取引最終日の終了する日における取引時間を午前8時20分から午後3時までとする。

項目	内容	備考
7 取引単位	<p>同一の取引参加者が売呼値とそれに対当させるための買呼値を同時に行うものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> J-NET取引の呼値は、各取引時間終了時に効力を失うものとする。 競争売買市場において取引されている先物・オプション取引における銘柄に係る取引単位と同じとし、フレックス限月取引のみを行うオプション取引についてもこれを準用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日経平均トータルリターン・インデックス先物は日経平均トータルリターン・インデックスの数値に1,000円を乗じて得た額を1単位とする。 1単位から取引が可能。
8 通知	<ul style="list-style-type: none"> 当社は、J-NET取引が成立したときは、その内容を売方取引参加者及び買方取引参加者に通知するものとする。 	
9 取引の停止及び一時中断	<ul style="list-style-type: none"> 当社が必要と認める場合には、J-NET取引の区分ごとに、J-NET取引を停止するものとする。 立会取引において、サーキット・ブレーカー制度に基づき取引の一時中断が行われた場合（フレックス限取引のみを行うものについては、これに準ずる場合）には、J-NET取引（コンプレッション取引を除く。）についても取引を一時中断する。 	<ul style="list-style-type: none"> サーキット・ブレーカー制度の詳細については、「サーキット・ブレーカー制度について」参照。
II 建玉及び決済	<ul style="list-style-type: none"> J-NET市場における新規の売付け及び買付けを建玉として算定するものとし、競争売買市場分とJ-NET市場分を区分しない。 J-NET市場における転売又は買戻しによる決済は、競争売買市場と同様の方法で行う。 取引最終日までの間に決済されなかった建玉については、競争売買市場分とJ-NET市場分と併せて最終決済を行う。 ただし、有価証券オプション取引に係る顧客による権利行使の指示時間について、以下の特例を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> 権利行使日の午後立会終了時以降に成立した有価証券オプション取引に係るJ-NET取引の委託を行った顧客が当該銘柄に係る権利行使を取引参加者に委託する場合には、当該銘柄に係る権利行使の数量を午後4時20分までに取引参加者に指示するものとする。 当該銘柄が本質的価値を有する場合においては、当該顧客から権利行使の指示があったものとみなす。ただし、午後4時20分までに権利行使を行わない旨の申告を行った場合には、この限りでない。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常の時限は、午後4時。
III 値洗い	<ul style="list-style-type: none"> 競争売買市場の取引分と併せて、清算値段又は清算数値に基づき値洗いを行うこととする。 顧客と取引参加者との間の計算上の損益額の授受は、競争売買市場における取引分と併せて行うこととする。 	

項 目	内 容	備 考
IV 証拠金	<ul style="list-style-type: none"> 競争売買市場における取引分と合算して行う。 	
V 参加者負担金	<ul style="list-style-type: none"> 競争売買市場における取引分と合算して行う。 	
VI 四本値等の公表	<ul style="list-style-type: none"> 各銘柄の四本値及び取引高を公表する。ただし、フレックス単一銘柄取引に係る通知及び公表は、約定に係る想定元本額が本所の定める金額以上の場合には、翌日（休業日を除く。）に行うものとする。 	

以 上

J-NET 単一銘柄取引の値段の単位等

区 分		値段の単位	値 幅		
国債証券先物取引	中期国債先物	0.01 銭	$T \pm U \times 0.5\%$		
	長期国債先物				
	超長期国債先物				
	ミニ長期国債先物				
指数先物取引	日経 225 先物	0.0001 円	$T \pm U \times 8\%$		
	日経 225mini				
	TOPIX 先物	0.0001pt.			
	ミニ TOPIX 先物				
	JPX 日経 400 先物				
	東証マザーズ指数先物				
	RNP 先物				
	TOPIX Core30 先物				
	東証銀行業株価指数先物				
	東証 REIT 指数先物				
	NY ダウ先物				
	FTSE 中国 50 先物				
	日経平均 V I 先物			$T \pm U \times 20\%$	
	日経平均・配当指数先物			0.0001 円	$T \pm U \times 10\%$
	CME 原油等指数先物			0.0001pt.	
商品先物取引	金標準先物	0.001 円	$S \pm U \times 32\%$		
	金ミニ先物	0.01 円			
	金限日先物	0.01 円			
	白金標準先物	0.01 円			
	白金ミニ先物	0.01 円			
	白金限日先物	0.01 円			
	銀先物	0.0001 円			
	パラジウム先物	0.01 円			
	ゴム (RSS3) 先物	0.001 円			
	ゴム (TSR20) 先物	0.001 円			
	一般大豆先物	1 円			
	小豆先物	0.1 円			
	とうもろこし先物	0.1 円			
オプション取引	有価証券オプション	10 銭※	$U \pm (V \times 8\% + W - V)$		
	国債証券先物オプション	0.01 銭	$T \pm X \times 0.5\%$		
	日経平均オプション	0.0001 円	$U \pm (Z \times N\% + Y - Z)$		
	TOPIX オプション	0.0001pt.			
	JPX 日経インデックス 400 オプション				

	金先物オプション	0.01 円	$S \pm U \times 10\%$
--	----------	--------	-----------------------

※売買単位が奇数であるオプション対象証券に係る有価証券オプション取引については、1円とする。

(注) 台湾加権指数先物、日経平均トータルリターン・インデックス先物、東証銀行業株価指数オプション及び東証 REIT 指数オプションは対象外です。

(記号の意味)

S : 直前の立会における約定値段 (ストラテジー取引による約定値段を除く。)

T : 直前の立会における売呼値及び買呼値に係る仲値並びに直前の約定値段 (ストラテジー取引による約定値段を除く。)

U : 当取引日の呼値の制限値幅の基準値段

V : 当日の指定市場におけるオプション対象証券の呼値の制限値幅の基準値段

W : 直近の指定市場におけるオプション対象証券の値段

X : 当取引日の権利行使対象先物限月取引の呼値の制限値幅の基準値段

Y : 直近の対象指数を同じくする先物取引の値段から理論ベースを減じた値段

Z : 前取引日の対象指数の終値

N : 11% ただし、直近3限月取引及び週次設定限月取引においては8%

フレックス単一銘柄取引の値段の単位等

区 分		値段の単位	値 幅
先物取引	日経 225 先物	0.0001 円	U ± U × 24%
	TOPIX 先物	0.0001pt.	
	JPX 日経 400 先物		
	東証銀行業株価指数先物		
	東証 REIT 指数先物		
	日経平均トータルリターン・インデックス先物	0.0001 円	
オプション取引	有価証券オプション	0.0001 円	T ± (V × 20% + W - V)
	日経平均オプション	0.0001 円	U ± (X × 11% + Y - X)
	TOPIX オプション	0.0001pt.	
	JPX 日経インデックス 400 オプション		
	東証銀行業株価指数オプション		U ± (X × 11% + Z - X)
	東証 REIT 指数オプション		

(記号の意味)

T：前取引日のオプション対象証券の設定基準最終値段に基づき当社が算出する前取引日終了時点の理論価格

U：前取引日の対象指数の終値に基づき当社が算出する前取引日終了時点の理論価格

V：当日の指定市場におけるオプション対象証券の呼値の制限値幅の基準値段（午後 4 時 15 分から 5 時 30 分までは、当日の指定市場におけるオプション対象証券の最終値段）

W：直近の指定市場におけるオプション対象証券の値段

X：前取引日の対象指数の終値

Y：直近の対象指数を同じくする先物取引の値段から理論ベースを減じた値段

Z：直近の対象指数の値